

第1回検討会での主な意見について

主な意見	意見への対応
<p>地籍調査の効果を明らかにし、地籍調査を現実的年数で終わらせることを考えて、官民境界等先行型の調査を進めているところ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回で葛飾区より都市部における地籍調査の実態を発表。 ・官民境界等先行調査の位置づけについては第2回、また、その進捗状況の表し方等については、第4回での議題としたい。
<p>地籍整備の防災への効果について、復興の現場において障害となったケースやその対応方法等が整理できるとより明確化するのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本や熊本の現地の状況も踏まえた上で、第4回での議題としたい。
<p>都市部で進んでいる地域では19条5項が進んでいるのか、筆数ではどうなのかといったことを整理して欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整理方法を検討作業中。
<p>地籍調査成果の数値情報をウェブ上で公開することで、地籍整備の推進にもつながるのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回資料4で説明。
<p>森林保全も重要と考えるが、地籍調査の問題であるかよく整理して欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回での議題としたい。
<p>都市近郊林は土地境界を明確化する必要性が高いが、体制や財政基盤が弱い森林組合では対応しきれない実態もある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県、市以外の主体による地籍整備の推進も含め、第3回での議題としたい。
<p>官民境界等先行調査は全国的にどれだけ取り組まれているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回資料2で説明。
<p>準天頂衛星は電子基準点に依存して測量精度を高めるものであるため、活用にあたっては電子基準点の設置位置等とセットで考える必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準天頂衛星の地籍整備への活用方策等について関係機関とも連携し検討したい。
<p>一筆地調査については、依然として多くの時間と労力を必要とし、集合住宅での立会い等の課題もあるので、効率化の手法を検討してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回資料3で説明。